

「おかやま電池関連技術研究会」第2回技術セミナーのご案内

我が国の運輸、民生、産業分野で消費されるエネルギーの50%以上が未利用熱として環境中に排出されています。熱を電気エネルギーに変換する技術は、環境保全の観点のみならず産業競争力強化の観点からも重要性が増しています。今回は、有機、無機の熱電材料の探索から熱電変換技術を活用した製品、さらには小型バイナリー発電等の最新情報を提供します。

日 時 平成25年11月19日(火) 13:30~17:00 ※意見交換会 17:30~19:30
会 場 サンビーチ岡山 3F ピーチホール(岡山市北区駅前町2丁目3-31) ※岡山駅徒歩5分
主 催 岡山県
定 員 50名 ※定員に達した場合はお断りすることがあります
参加費 無 料 ※意見交換会参加費: 4,000円(事前申込者のみ受付でお支払い下さい。)
申込方法 参加申込書に必要事項を御記入の上、11月12日(火)までにFAX又はメールでお申し込み下さい。

TIME TABLE	プログラム
13:30~13:35	開会挨拶
13:35~15:00	講演1『フレキシブル環境発電のための有機熱電材料探索』 奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科 特任教授 中村 雅一 氏 ウェアラブルエレクトロニクスやセンサネットワークのための分散電源として、人体や生活環境などの低密度な廃熱を再利用する新しいタイプの熱電変換素子が望まれている。有機材料を中心に新概念の熱電材料を探索してきたこれまでの研究を中心に、有機熱電材料の基礎から将来展望までを解説する。
15:00~15:10	休 憩 ・ 名 刺 交 換
15:10~16:00	講演2『熱電発電技術とその展望』 三井造船株式会社 千葉技術開発センター ハイドレートグループ長 加藤 寿仁 氏 当社は、排熱を出す各種装置を製造販売しており、その高付加価値化を図るためには排熱利用技術が欠かせない。熱電変換は小規模、低温度差でも発電でき、部品の消耗がほばないため、排熱利用において有望である。本講演では島根大学と共同で行ったBiTe系の材料開発事例の紹介と、最近のトピックス等について解説する。
16:00~16:30	講演3『排ガス・排熱シナジー発電システムの開発』 株式会社アツミテック 開発本部 環境商品開発ブロック 内山 直樹 氏 自動車やオートバイ、など内燃機関を有する移動体用動力源の排気ガス中には未利用燃料として炭化水素や一酸化炭素、さらには水素の存在が確認されている。排ガス中の希薄な燃料成分を利用し固体酸化物型燃料電池にて発電すると同時に燃料電池の化学反応熱との温度差を利用したシナジー発電システムの開発について説明する。
16:30~17:00	講演4『その熱とことん電気に変えます〜小型発電システムの開発と将来展望』 アルバック理工株式会社 研究開発部長 遠藤 聡 氏 これまで利用が難しいと考えられていた、100℃未満のお湯を熱源とした小型発電システムを開発した。この発電システムに95℃~75℃のお湯を毎分50ℓ程度、並びに、25℃~5℃の冷却水を毎分50ℓ程度を発電機に流し、温度差が70℃以上であれば、3Kw程度の発電をすることができる。セミナーでは使える熱源についても説明する。
17:00~17:05	閉 会
17:30~19:30	意見交換会 岡山駅前産直市場(岡山市北区駅前町1丁目7-3)へ御移動をお願いします。

◆ お申込・お問合せ先 岡山県 産業労働部 産業企画課 新エネルギー推進室 担当: 近藤
 TEL 086-226-7380 FAX 086-225-3449 E-mail: hitoshi_kondou@pref.okayama.lg.jp

事務局: 岡山県 産業労働部 産業企画課 新エネルギー推進室(近藤) 行き FAX 086-225-3449 ※申込期限: 11月12日(火)

「おかやま電池関連技術研究会」第2回技術セミナー 参加申込書

企業・団体名		TEL	
所在地		FAX	
参加者	所属部署	役 職	氏 名
			意見交換会
			参 加 ・ 不 参 加
			参 加 ・ 不 参 加